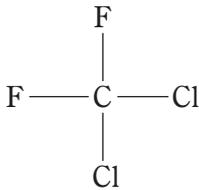


表は、モントリオール議定書に基づく先進国に対するオゾン層破壊物質の削減スケジュールを示したものである。化合物群Cに含まれる化合物として、正しいのはどれか。

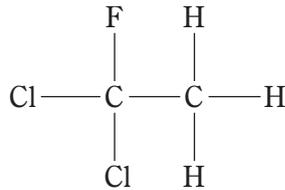
表. モントリオール議定書に基づく先進国に対するオゾン層破壊物質の削減スケジュール (一部)

物質名		先進国に対する規制スケジュール	
A		1996年以降	全 廃
B		1994年以降	全 廃
その他のクロロフルオロカーボン		1996年以降	全 廃
1,1,1-トリクロロエタン		1996年以降	全 廃
C	消費量	2020年以降	全 廃 (既存機器への補充に関する例外あり)
	生産量	2020年以降	全 廃 (既存機器への補充に関する例外あり)

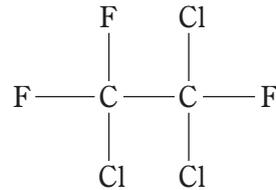
1.



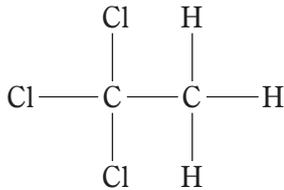
2.



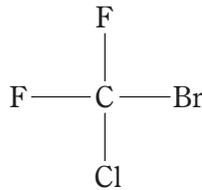
3.



4.



5.



〔正答番号〕 1 3 4 5

原子吸光光度法，誘導結合プラズマ（ICP）発光分光分析法及び ICP 質量分析法に関する次の記述のうち，正しいのはどれか。

1. 原子吸光光度法では，主に励起状態の原子蒸気による光吸収を観測している。
2. 原子吸光は極めて狭い波長範囲（1 pm 程度）の光吸収であるため，共存物質等による干渉を考慮する必要がない。
3. ICP は，光と熱の発生を伴う状態で，通常は物質と酸素との化学反応によって生じる。
4. ICP 発光分光分析法は，測定対象の元素ごとにプラズマ化して励起源として用いる必要があるため，多元素同時測定には適用できない。
5. ICP 質量分析法では，ICP 中に導入された試料のうち，イオン化された原子を質量分析計で検出している。

〔正答番号〕 1 2 3 4

片頭痛とその治療に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 片頭痛の患者は、女性よりも男性の方が多い。
2. 遺伝的要因は、片頭痛の発症に無関係である。
3. 片頭痛発作の主な誘因は、ヒスタミンである。
4. 非ステロイド性抗炎症薬は、片頭痛の治療に用いられない。
5. 片頭痛発作の急性期の治療には、トリプタン製剤が有効である。

〔正答番号〕 1 2 3 4

消化管に作用する薬物に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. インフリキシマブは、インターロイキン-6 (IL-6) の中和抗体であり、炎症性腸疾患に伴う腹痛や下痢を改善する。
2. トリメブチンは、アドレナリン β_2 受容体を遮断し、腸管運動を促進する。
3. モサプリドは、ドパミン D_2 受容体を遮断し、消化管運動を促進する。
4. ラモセトロンは、セロトニン $5-HT_3$ 受容体を刺激し、下痢を抑制する。
5. ロペラミドは、コリン作動性神経終末のオピオイド μ 受容体を刺激し、腸管運動を抑制する。

〔正答番号〕 1 2 3 4

薬物のタンパク結合に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. ワルファリンは、血中に入ると極めて速くアルブミンに結合し、その反応は不可逆的である。
2. 血漿中でアルブミンに結合したイブプロフェンは、生体膜を通過することができない。
3. インドメタシンは、 α_1 -酸性糖タンパク質との親和性が、アルブミンとの親和性よりも高い。
4. リドカインは、アルブミンとの親和性が、 α_1 -酸性糖タンパク質との親和性よりも高い。
5. ジアゼパムは、アルブミン分子上の結合サイト I に結合する。

〔正答番号〕 1 3 4 5

薬価基準制度に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 薬価基準には、保険医療のもとで使用できる医療用医薬品が収載されている。
2. 新薬の薬価は、類似薬がある場合には、原則として、原価計算方式と呼ばれる方法により算定される。
3. 新薬の薬価は、医薬品の製造販売承認の審議を行う薬事・食品衛生審議会の総会において了承を得たうえで、官報に告示される。
4. 薬価改定は、薬価基準に収載されている医薬品のうち、先発医薬品がその対象となる。
5. 薬価改定に用いられる市場実勢価格加重平均値調整幅方式とは、医薬品の製造原価、販売管理費、利益等を積み上げて算定する方式である。

〔正答番号〕 2 3 4 5